TAXAN

取扱説明書

LED PROJECTOR

使用する前に必ず「安全のための注意事項」を読み込んで、正確に使ってください。

KG-PL031W

P/NO : MFL67213809(1107-REV01)

ライセンス

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DIVXビデオについて: DivX®は、DivX, Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。
DIVXビデオオンデマンドについて: DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。
プレミアムコンテンツを含む最高HD 1080pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。
次の1つ以上の米国特許により保護されています:7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274
DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

HDMI、HDMIのロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

- DLP®(Digital Light Processing)は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
- XGA は米国IBM Corp. の登録商標です。
- S-VGA はVideo Electronics Standards Association の登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh は米国Apple Inc. の商標です。
- Adobe Acrobat Reader はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

重要

- この説明書に使われる製品図と画面の表示は製品をより分かりやすく説明するための例示として、実際の製品とは異なることがあります。

安全にお使いいただくために

起こりうる事故、またはプロジェクタの誤使用を防ぐため、安全上の注意事項をよくお読みください。

➡ 安全上の注意事項は、次のような2 つの形式で記載されています。

⚠ **警告**：この指示を守らないと、重傷を受けたり場合によっては死亡事故につながる恐れがあります。

⚠ **注意**：この指示を守らないと、軽傷を受けたりプロジェクタの破損につながる恐れがあります。

➡ 本マニュアルを読んだ後には、いつでもすぐに参照できる場所に保管してください。

室内での設置 ⚠ 警告

プロジェクタは、直射日光が当たる場所や熱を発するもの(ラジエータ、火元、ストーブなど) の近くに置かないでください。 火災につながる恐れがあります。	プロジェクタのそばに引火性物質を置かないでください。 火災につながる恐れがあります。	設置したプロジェクタにぶら下がって、子供が遊ばないように注意してください。 プロジェクタが落下して、けがや死亡事故につながる恐れがあります。
通風孔を塞いだり、空気の流れを妨げないでください。 内部温度が上昇し、火災や装置の破損につながる恐れがあります。	蒸気やオイルを噴出するもの(加湿器など) の近くに置かないでください。 火災や感電につながる恐れがあります。	ほこりがかかる場所に置かないでください。 火災や装置の破損につながる恐れがあります。
水に濡れる可能性がある湿気の多い場所(浴室など) では使用しないでください。 火災や感電につながる恐れがあります。	カーペットやラグの上に直接置いたり、換気が悪い場所に置かないでください。 内部温度が上昇し、火災や装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタの周囲では、十分な換気を確保してください。プロジェクタと壁の間には、必ず20 cm 以上の距離をとってください。 内部温度が過度に上昇すると、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

室内での設置 ⚠ 注意

テーブルの上に設置する場合は、テーブルの端に置かないように注意してください。 落下して、周囲の人重傷やプロジェクタの重大な破損につながる恐れがあります。適切なスタンドのみを使用してください。	移動する前には、電源接続とすべての接続部を取り外してください。	水平で安定した場所でのみ使用してください。 落下して、けがや装置の破損につながる恐れがあります。

電源	⚠ 警告	
アース線を必ず接続してください。 - アース端子の接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース端子の接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。 - アース線が接続されていないと、漏電による感電につながる恐れがあります。 - 接地ができない場合は、有資格の電気技術者が個別の回路遮断器を設置する必要があります。 - 電話線、避雷針、またはガス管には接地しないでください。	電源プラグは電源コンセントに完全に差し込んでください。 火災や装置の破損につながる恐れがあります。	電源コードの上に重いものを置かないでください。 火災や感電につながる恐れがあります。

電源	⚠ 警告	
濡れた手で電源プラグに触れないでください。 感電につながる恐れがあります。	電源コンセントには、同時に多くのプラグを使用しないでください。 電源コンセントが過熱して、火災につながる恐れがあります。	電源プラグの端子、または電源コンセントにほこりがたまらないようにしてください。 火災につながる恐れがあります。

電源	⚠ 注意	
プラグを抜くときには、プラグをしっかりと持ってください。コードを引っ張ると、コードが破損する恐れがあります。 火災につながる恐れがあります。	電源コードまたは電源プラグが破損していたり、電源コンセントが緩んでいるときには、電源プラグを差し込まないでください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	電源コードは、先が尖ったものや高温のもの(ヒーターなど) に触れないように注意してください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。
プロジェクタは、人が電源コードでつまづいたり、人が電源コードを踏んだりしない場所に置いてください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	壁面コンセントの電源プラグを抜き差しして、プロジェクタのオン/オフを切り替えないでください。(電源プラグをスイッチ代わりに使用しないでください。) ※ダイレクトパワーオン機能有効時を除く 機械的な故障や感電につながる恐れがあります。	アダプタ、電源コードは本製品以外の製品には使用出来ません。

使用時	⚠ 警告	
液体が入ったもの(花瓶、コーヒーカップ、化粧品、ろうそくなど) をプロジェクタの上に置かないでください。 火災や装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタが強い衝撃または破損を受けた場合は、プロジェクタの電源を切り、電源コンセントからプラグを抜いてサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタにものを落とさないでください。 感電や装置の破損につながる恐れがあります。
プロジェクタに水がかかった場合は、ただちに電源コンセントからプロジェクタのプラグを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。 感電や装置の破損につながる恐れがあります。	使用済み電池は、安全な方法で適切に廃棄してください。 子供が電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。	
カバー類を取り外さないでください(レンズカバーを除く)。感電する恐れがあります。	プロジェクタの使用中は、レンズを直視しないでください。目を損傷する恐れがあります。	通気孔は非常に熱くなっているので、使用中/使用直後には金属部分に触れないでください。

電源コードに関するご注意

ほとんどの機器では、専用の電気系統(1 つの機器のみの電源を供給し、追加コンセントや電源の分岐がない単一の電気系統) を使用することが推奨されています。
壁面コンセントに負荷をかけ過ぎないでください。過負荷になった壁面コンセント、緩んだ/破損したコンセントや延長コード、摩耗した電源コード、亀裂が入った絶縁コードを使用するのは危険です。このような状態は、感電や火災につながる恐れがあります。機器のコードを定期的に点検し、外観上の破損または劣化が見られる場合は、そのコードを抜いて、機器の使用を停止し、同一交換部品との交換を正規のサービス担当者に依頼してください。電源コードが、物理的または機械的な誤用(ねじれ、よじれ、締め付け、ドアの挟み込み、足での踏みつけなど) を受けないよう注意してください。プラグ、壁面コンセント、および機器からコードが出ている部分には、特に注意を払ってください。

使用時	⚠ 警告	
ガス漏れが発生した場合は、壁面コンセントに触れないようにし、窓を開けて換気を行ってください。 火災や火花によるやけどにつながる恐れがあります。	レンズの中を直接見ないでください。目を損傷する恐れがあります。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。	プロジェクタの点灯中は、レンズキャップを外してください。

使用時	⚠ 注意	
プロジェクタの上に重いものを置かないでください。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。	レンズに衝撃を与えないように注意してください(特にプロジェクタの移動時)。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタのレンズに触れないでください。レンズは傷つきやすく、破損しやすくなっています。
外装が破損するので、プロジェクタの上で先が鋭い道具を使用しないでください。	画像がスクリーンに表示されない場合は、プロジェクタの電源を切り、電源からプラグを抜いてサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	プロジェクタを落としたり、強い衝撃を与えないでください。 機械的な故障やユーザーのけがにつながる恐れがあります。

クリーニング	⚠ 警告	
クリーニングには、水を使用しないでください。 火災や感電につながる恐れがあります。	プロジェクタから煙が出たり、異臭がする場合は、プロジェクタの電源を切り、壁面コンセントからプラグを抜いて、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。 火災、感電、または装置の破損につながる恐れがあります。	投映レンズのほこりや汚れを取り除く場合は、エアスプレーを使用するか、中性洗剤と水をしみ込ませた柔らかい布を使用してください。

クリーニング

⚠ 注意

年に1 度は、サービスセンターにプロジェクタの内部部品のクリーニングを依頼してください。

ほこりがたまると、機械的な故障につながる恐れがあります。

プロジェクタケースなどのプラスチック部品をクリーニングするときには、電源プラグを抜いて、柔らかい布で拭いてください。洗剤を使ったり、スプレーで水をかけたり、濡れた布で拭いたりしないでください。特に、洗剤(ガラス用洗剤)、自動車用/工業用の光沢剤、研磨剤、ワックス、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。これらを使用すると、製品を破損する恐れがあります。投映レンズのほこりや汚れを取り除く場合は、エアスプレーを使用するか、中性洗剤と水をしみ込ませた柔らかい布を使用してください。

火災、感電、または製品の破損(変形、腐食、損傷) につながる恐れがあります。

その他

⚠ 警告

プロジェクタの修理を自分でしないでください。販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

プロジェクタの破損や感電につながる恐れがあり、保証が無効になる場合もあります。

その他

⚠ 注意

プロジェクタを長い間使用しない場合は、電源プラグを必ず抜いてください。

ほこりがたまると、火災や装置の破損につながる恐れがあります。

新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の過熱や液漏れにつながる恐れがあります。

指定されたタイプの電池のみを使用してください。

指定以外の電池を使用すると、リモコンの破損につながる恐れがあります。

目次

ライセンス 2

安全にお使いいただくために 3

準備 9

付属品 9
各部分の名称 10
設置と構成 11
- 設置に関する注意事項 11
- 画面サイズによる投写距離 12
- 三脚を使用してプロジェクタを設置する方法 13
- ケンジントン(Kensington)盗難防止装置の使用方法 13

リモコン 14

プロジェクターの使い方 16

プロジェクターの使い方 16
- プロジェクターの電源の入れ方 16
- スクリーン映像のフォーカスおよび位置調整 16
- プロジェクターの使い方 16

頻繁に使用する機能 17
- アスペクト比機能の使い方 17
- 台形補正機能の使い方 18
- 入力信号の選択方法 18
- ブランク機能 19

クイックメニューの使い方 19

プロジェクターを楽しむ方法 20

マイメディア 20
- USBデバイスの接続方法 20
- 動画再生 22
- 写真の見方 27
- 音楽再生 29
- ドキュメントファイルを見る方法 30

詳細設定 32

設定メニュー 32
映像設定 33
画面設定 36
オーディオ設定 37
タイマー設定 37
オプション設定 38

外部機器の接続方法 39

デジタル放送受信機やDVD、ビデオなどの接続方法 40
- HDMI接続 40
- コンポーネント接続 40
- 外部入力(AV)接続 41

PCの接続方法 41
- RGB接続 41

ヘッドホン接続 42

メンテナンス 43

掃除 43
- レンズの掃除 43
- プロジェクターケースの掃除 43

レンズキャップの固定方法 43

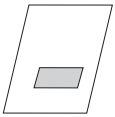
製品規格 44

準備

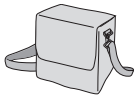
付属品

付属品を確認してください。
製品図は実際の製品とは異なることがあります。

リモコン
単４電池

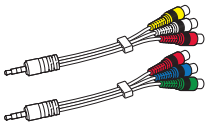


取扱説明書



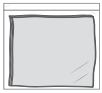
携帯用バック

PCケーブル



コンポーネント/外部入力変換
ケーブルー

AC-DCアダプター

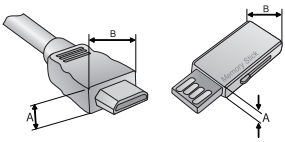


クリーナ

レンズ キャップ、紐

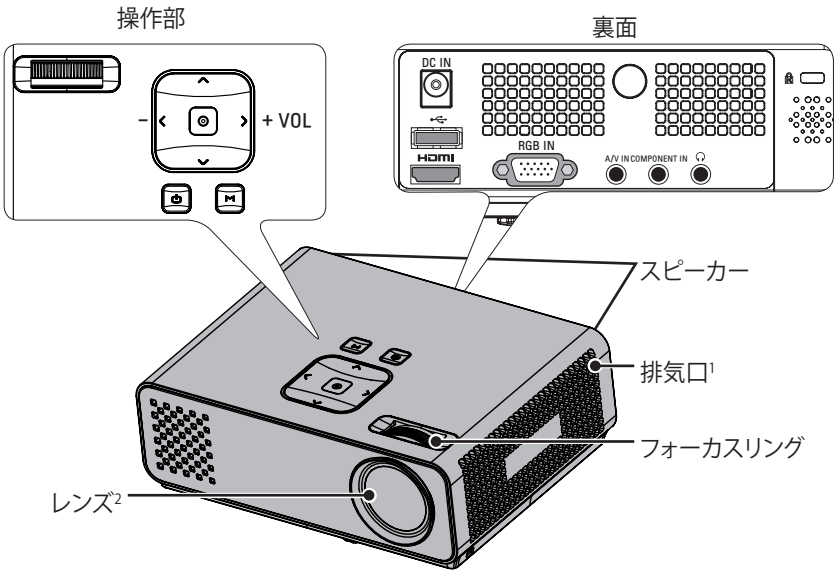
電源ゴード

- HDMIとUSB接続端子を利用する時、USB/HDMI端子に接続するジャックのサイズが大きすぎると一緒に接続できないことがあります。 標準サイズの接続ジャックを使用ください。



A≦10mm , B≦24mm

各部分の名称



ボタン	説明
(電源)	プロジェクターをオンまたはオフします。
(メニュー)	メニューを選択したりクローズします。
VOL(音量) -、+	音量を調節します。
∧、∨、<、>	機能を設定します。
(OK)	現在モードを確認したり、機能を変更して保存します。

1 排気口周辺はは高温になるため、使用中は注意してください。
2 レンズへの接触に注意し、プロジェクタ使用時はレンズキャップを閉めた状態で使用しないでください。

設置と構成

設置に関する注意事項

プロジェクタの適切な換気を確保してください。

- プロジェクタの底部には吸気用の通気孔、前面には排気用の通気孔が装備されています。これらの通気孔を塞いだり、近くにものを置いたりしないでください。内部温度が上昇し、画像の劣化やプロジェクタの破損につながる恐れがあります。

- プロジェクタは、カーペットやラグのような表面の上に置かないでください。プロジェクタ底部の十分な換気が妨げられる場合があります。本製品は、壁または天井のみに取り付けてください。

- プロジェクタを押して動かしたり、プロジェクタに液体をかけないでください。

- プロジェクタの周囲には、十分な距離(30 cm) をとってください。

適した温度/湿度条件の場所に置いてください。

- 適した温度と湿度を満たす場所のみに設置してください 。

ほこりがかかる場所に置かないでください。

- 過熱につながる恐れがあります。

プロジェクタの通気孔や開口部を塞がないでください。過熱の原因となり、火災につながる恐れがあります。

プロジェクタは高精度な技術を使用して製造されています。しかし、非常に小さい黒い点や明るい点(赤、青、または緑) がプロジェクタスクリーン上に継続して表示される場合があります。これは、製造プロセスによる正常な結果であり、動作不良を示すものではありません。

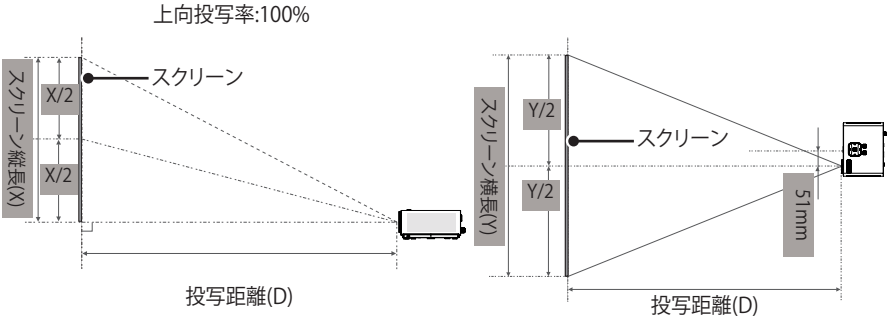
画面サイズによる投写距離

1 コンピュータまたは映像機器とプロジェクタを、安定した水平な場所に置きます。

2 プロジェクタの映像ケーブルを映像機器に接続します。

3 スクリーンから必要に応じた距離をとって、プロジェクタを置きます。プロジェクタとスクリーンの間の距離によって、画像の実際のサイズが決まります。

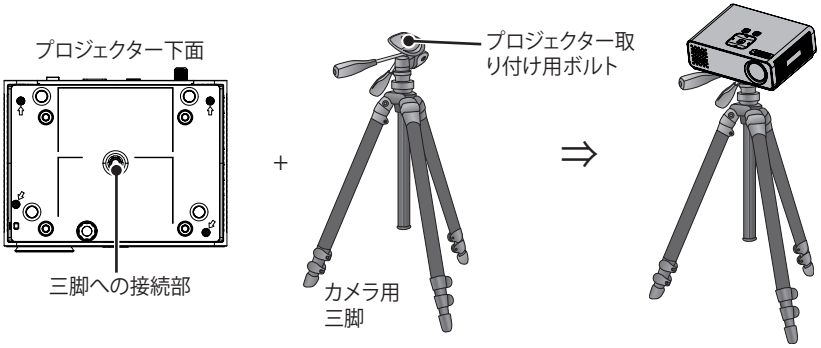
4 レンズが正しい角度でスクリーンに向くように、プロジェクタを配置します。プロジェクタの角度が正しくないと、スクリーンの画像が歪みます。その場合は、台形補正を行います。(18ページ参照)



16 : 9画面				
スクリーンサイズ (inch)	スクリーンサイズ (mm)	スクリーン横長(Y) (mm)	スクリーン縦長(X) (mm)	投写距離(D) (mm)
20	508	431	269	586
25	635	538	337	737
30	762	646	404	887
35	889	754	471	1038
40	1016	861	539	1200
45	1143	969	606	1342
50	1270	1077	673	1492
55	1397	1185	741	1643
60	1524	1292	808	1794
65	1651	1400	875	1947
70	1778	1508	943	2097
75	1905	1615	1010	2248
80	2032	1723	1077	2399
85	2159	1831	1145	2552
90	2286	1938	1212	2702
95	2413	2046	1279	2853
100	2540	2154	1347	3004

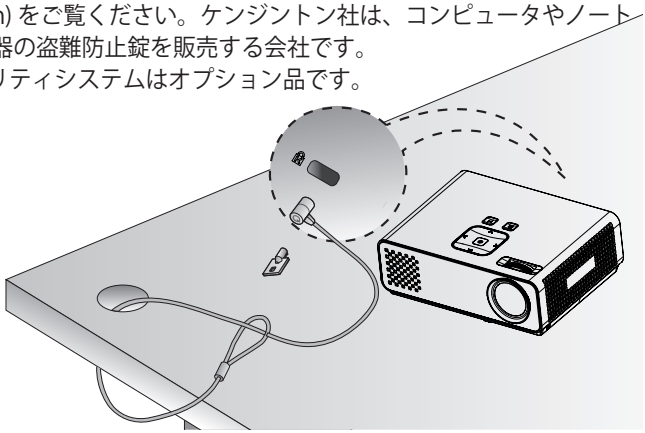
三脚を使用してプロジェクタを設置する方法

- プロジェクタは、カメラ用の三脚を使用して設置できます。カメラの代わりに、プロジェクタを三脚に取り付けることができます。
- 三脚を固定する場合は、標準サイズ (4.5mm) 以下のロッキングボルトを使用することをお勧めします。使用できるロッキングボルトのサイズは、6.5mm を限度とします(限度を超えるサイズのボルトを使用すると、プロジェクタに損傷を与える危険性があります)。



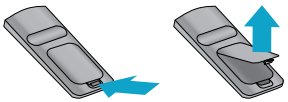
ケンジントン(Kensington)盗難防止装置の使用方法

- プロジェクタの背面パネルには、「ケンジントン」セキュリティシステムコネクタがあります。「ケンジントン」セキュリティシステムのケーブルを下図のように接続します。
- ケンジントンセキュリティシステムの設置と使用方法の詳細については、ケンジントンセキュリティシステム製品に付属のユーザーズガイドを参照してください。
  その他の詳細については、ケンジントン社のインターネットホームページ (http://www.kensington.com) をご覧ください。ケンジントン社は、コンピュータやノートPCなど高価な電子機器の盗難防止錠を販売する会社です。
- ケンジントンセキュリティシステムはオプション品です。



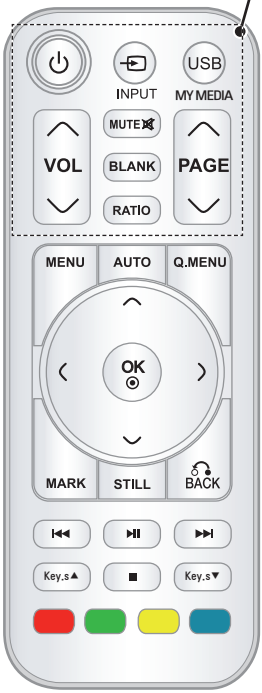
リモコン

リモコン裏面のフタをはずして、乾電池をいれる部分に図のように乾電池の向きを ⊕⊖表示どおり正しくセットします。乾電池(1.5V 単４)は二つとも同じ新品で入れてください。

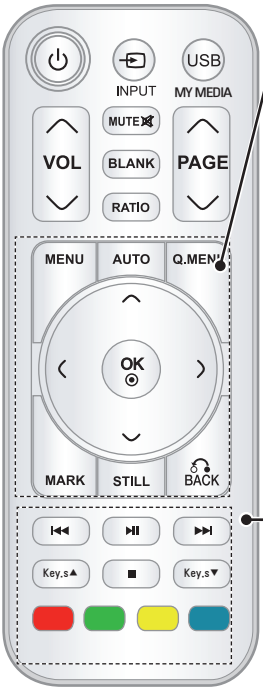


注意

- 乾電池は、新しいものと古いものを同時使用しないでください。



電源
プロジェクターをオンまたはオフします。
INPUT
外部入力を設定します。
USB/MY MEDIA
MY MEDIAを開始します。
VOL
音量を設定します。
MUTE
オーディオをミュートします。
BLANK
ブランク画面になります。
RATIO
アスペクト比を設定します。
PAGE
前のページや次のページを確認できます。

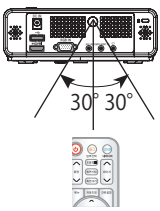


MENU
メニュー画面を開けたり閉じたりします。
AUTO
PC入力の時、画面を自動最適化します。
Q.MENU
クイックメニューを開きます。
上/下/左/右ボタン
機能を設定します。
OK
現在モードを確認し、機能を変更して保存します。
MARK
選択機能を確認できます。
STILL
映像を静止します。
(画面静止機能は全モードで動作しますが、DivXでは使用できません。)
BACK
前の画面に戻ります。

再生設定ボタン
マイメディアの再生を設定します。
Key.s ▲, Key.s▼
台形補正を設定します。
カラーボタン
各メニューから詳細設定や動作を選択します。

重要

- リモコンは受光部から6m、角度は左・右30度以内の範囲で動作します。
- 後面端子にケーブルが接続されている場合、リモコンは受光部から3m、角度は左・右30度以内の範囲動作します。
- IR端子(リモコンの受光部)を遮らないようにご注意ください。
- 携帯用バックに入れて持ち運びの際にはバックの中の本体、ケーブルまたはドキュメントなどにリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
  リモコン乾電池が消耗する恐れがあります。



プロジェクターの使い方

プロジェクターの使い方

プロジェクターの電源の入れ方

1 電源コードを正しく接続します。

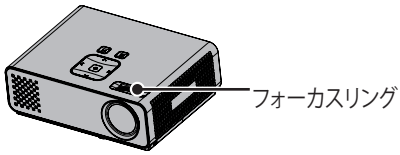
2 電源コードを接続してから操作部やリモコンの **電源**ボタンを押してください。(操作部のランプが点灯します。)

- リモコンの**INPUT**ボタンを押して希望の入力信号を選びます。
- プロジェクターをオンする前にレンズキャップが外されている事を確認してください。

3 言語の選択画面で言語を選択してください。

スクリーン映像のフォーカスおよび位置調整

スクリーンに映像が現れたらフォーカスが合っているか、きちんとスクリーンに対応しているか確認してください。



- 映像のフォーカスをあわせるにはフォーカスリングを手で回してください。

プロジェクターの使い方

1 電源待機の状態で**電源**ボタンを押してプロジェクターをオンします。

2 **INPUT**ボタンを押して希望の入力を選びます。

3 下記のボタンを使って視聴中でもプロジェクターを操作できます。

ボタン	説明
VOL-/ +	音量を調節します。
MUTE	オーディオをミュートします。
Q.MENU	クイックメニューに確認できます。(19ページ参照)
RATIO	アスペクト比を設定します。
Key's	台形補正を調節します。(18ページ参照)

4 プロジェクターをオフするには**電源**ボタンを押してください。

頻繁に使用する機能

アスペクト比機能の使い方

視聴中**アスペクト比**ボタンを押しアスペクト比を設定できます。

重要

- 入力信号によって設定が変わります。
- **Q.MENU**または**MENU**ボタンを押し実行することもできます。

- **16:9**: 画面サイズにあわせて16:9で比率を調節します。

- **オート**: 高解像度の映像を劣化させずに再生します。

重要

- オリジナルは受信信号によってノイズが発生することがあります。

- **オリジナル**: 受信信号と同じ比率で画面を自動変更します。

- **4:3**: 画面サイズにあわせて投映を4:3の比率に調節します。

- **ズーム**: 画面の幅に合わせて投映を拡大します。投映の上、下の部分が切れることがあります。
  - ＜、＞ボタンを押して画面を伸ばしたり縮めたりできます。
  - ∧、∨ボタンを押して画面を移動します。

- **シネマズーム+**: シネマスコープ(2.35:1)画面比の入力映像を歪めずに拡大して見えます。最大16まで拡大できます。
  - ＜、＞ボタンを押して画面を伸ばしたり縮めたりできます。
  - ∧、∨ボタンを押して画面を移動します。

重要

- 画面を伸ばしたり縮めたりする場合、映像が歪がんで見えることがあります。

台形補正機能の使い方

スクリーンとプロジェクタの角度が正しくないために画像が台形になっている場合は、この機能を使用します。
台形補正は、投映角度を最適に調整できない場合にのみ使用してください。

1 **Key.s▲**、**Key.s▼**ボタンを押して画面を調節します。

2 メニュー表示を終了するには、**BACK**ボタンを押します。

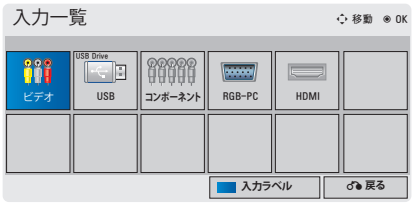
- **台形補正**は**-40** - **40**まで設定できます。

入力信号の選択方法

入力信号の選択方法

1 **INPUT**ボタンを押すと外部入力の選択画面に行きます。

- 接続された入力が現れます。



2 **INPUT**ボタンを押して入力信号を選択すると接続された入力に切り替えます。
∧、∨、<、>ボタンを押し、全ての入力に変更できます。

ブランク機能

ブランク機能の使い方

プレゼンテーション、ミーティング、打ち合わせ中などに相手の注意を引く必要がある場合は、この機能が効果的です。

1 **リモコンの BLANK ボタンを押します。**

- スクリーンの表示が消えて、背景画像に変わります。
- 背景画像は、ユーザーが選択できます。(**ブランクを選択する**を参照)

2 **いずれかのボタンを押すと、非表示機能がキャンセルされます。**

- 画像表示を一時的に中断するには、リモコンの **BLANK** ボタンを押します。使用中には、投映レンズを物で塞がないでください。レンズを塞いでいる物が過熱または変形したり、火災につながる恐れがあります。

ブランクの背景色の選択方法

1 **MENU**ボタンを押します。

2 ∧、∨、<、>ボタンを押しオプションを選択し、**OK**ボタンを押してください。

3 ∧、∨、<、>ボタンを押してブランクを選択し、**OK**ボタンを押してください。

4 ∧、∨、<、>ボタンを押して希望の項目に移動し、**OK**ボタンを押してください。

クイックメニューの使い方

頻繁に使用するメニューを手軽に設定できます。

1 **Q.MENU**ボタンを押してクイックメニューを確認します。

2 <、>ボタンを押して希望の設定を選択し、**OK** ボタンを押してください。

メニュー	説明
アスペクト比	アスペクト比を設定します。
投映モード	投映モードを設定します。
エコモード	画面の明るさを設定します。
色温度	お好みに応じて全体的な色感を調整できます。
明るさ	映像信号の明るさを調節します。
オフタイマー	設定の時間になるとプロジェクターが自動にオフします。
投写位置	投映の上下または左右を変えて投射します。
USBデバイス	接続されたデバイスを取り外します。

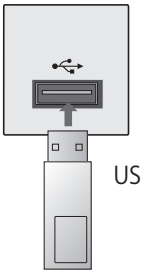
3 各項目を ∧、∨、<、>ボタンを押して設定します。

プロジェクターを楽しむ方法

マイメディア

USBデバイスの接続方法

USBデバイスを接続すると自動的にUSB画面が現れます。USBデバイスは書き込みや削除することはできません。
図のようにUSBメモリスティックを接続します。



USBメモリスティック

ＵＳＢホーム メニューが自動的に表示されます。

USBデバイスの取り外し方法

1 **Q.MENU** ボタンを押します。
2 ＜、＞**ボタンを押して****USB****デバイス**へ移動し、**OK**ボタンを押します。
3 USBデバイスを取り外します。

重要

- USBを取り外した後にはUSBデバイスを読み取りできません。 USBデバイスを取り外して再度接続してください。

USBデバイス使用上の注意事項

- USBデバイス以外のデバイスは対応していません。
- USB記憶装置だけが認識されます。
- USBハブを使ってUSB記憶装置を接続した場合、USB記憶装置が認識されません。
- 自動認識プログラムを使用したUSB記憶装置は認識されないことがあります。
- 専用のドライバを使用するUSB記憶装置は認識されないことがあります。
- USB記憶装置の認識速度は各装置に依存します。
- 接続しているUSB記憶装置が作動しているときには、プロジェクタのスイッチを切ったりUSB記憶装置を外したりしないでください。USB記憶装置を作動中に外すと、保存されているファイルやUSB記憶装置自体が損傷することがあります。
- PC上で利用していたUSB記憶装置を接続しないでください。このようなUSB記憶装置が原因で、製品の故障や再生失敗が生じることがあります。通常の音楽ファイル、画像ファイル、動画ファイル、またはテキストファイルが入っているUSB記憶装置以外は、絶対に使用しないでください。
- Windowsオペレーティングシステムが利用するFAT16、FAT32、NTFSのファイルシステムでフォーマットされたUSB記憶装置以外は使用しないでください。Windowsがサポートしないユーティリティプログラムで USB記憶装置をフォーマットした場合は、認識されないことがあります。
- 外部電源を必要とするUSB記憶装置では、電源を接続してください。電源を接続しないと、USB記憶装置が認識されないことがあります。
- USB記憶装置との接続には、同装置製造メーカーが提供する接続ケーブルを使ってください。USB記憶装置製造メーカーが提供するケーブル以外のケーブルや、過剰に長いケーブルを使うと、USB記憶装置が認識されないことがあります。
- 一部のUSB記憶装置はサポートされないことや、正常に動作しないことがあります。
- フォルダやファイルの名前が長すぎると、表示や認識が正しく行われません。
- USB記憶装置のファイル整列方法は、Windows XPと同じであり、ファイル名は英字100文字まで認識可能です。
- USB記憶装置のデータは損傷を受けることがあります。そのため、重要なファイルはバックアップしてください。データはユーザー側で責任を持って管理してください。メーカー側がデータ損傷を引き起こした製品の責任を負うことはありません。
- USB外付けハードディスクの推奨記憶容量は1TB以下、USBメモリでは32GB以下です。推奨記憶容量を超える装置は、正しく機能しないことがあります。
- FAT32ファイルシステムのみ削除機能をサポートします。
- USBメモリ装置が正常に作動しない場合には、一旦外した後接続し直してください。
- 省エネ機能があるUSB外付けハードディスクが作動しない場合、一旦ハードディスクをオフにした後、再びオンにすると正常に作動します。
- USB2.0未満のUSB記憶装置もサポートされています。ただし、動画のリスト中で正常に作動しないことがあります。
- ご使用のUSBメモリ装置がパーティションに分けられている場合や、USBマルチカードリーダーをご使用の場合、利用できるパーティションまたはUSBメモリ装置は4つまでです。
- USBメモリ装置の速度は、メモリ装置毎に異なった速度が検知されます。
- スタンバイモードでUSBを接続すると、プロジェクタをオンしたとき、ハードディスクが自動的にロードされます。

動画再生

* 動画一覧でUSB接続されたデバイスの動画を再生できます。

動画再生時の注意事項

- 使用者によって製作された一部字幕は正常に動作しないことがあります。
- 字幕の中で一部の特殊文字については対応していません。
- HTMLタッグ(tag)が含まれている字幕については対応していません。
- 字幕ファイル内の時間情報が昇順に整列されているファイルのみ字幕が正常に表示されます。
- 字幕のフォントと色の変更はできません。
- 字幕言語に明記されていない言語は対応していません。 (25ページ参照)
- 容量が1MBを超える字幕ファイルは対応していません。
- 音声言語を設定するとき画面上の過渡現象(画面静止や早見再生など)または音声の切れる現象が一時に発生することがあります。
- 壊れた動画ファイルは再生されないか、再生中に一部の機能を使用できない可能性があります。
- 特定エンコーダーによって製作された動画ファイルは再生できないことがあります。
- 製作された動画ファイルのビデオとオーディオのパケット構造によりオーディオまたはビデオのみ対応できることがあります。
- 各フレームによって最大解像度より高い解像度の動画は再生が円滑でない可能性があります。
- 明記された対応フォーマット以外の動画ファイルは再生が円滑でない可能性があります。
- GMC(Global Motion Compensation)とQpel(Quarterpel Motion Estimation)が含まれたストリームは対応していません。
- 字幕ファイル内のSync Blockの個数は最大一万個です。
- encoded level 4.1またはH.264/AVC以上では再生が円滑でない可能性があります。
- DTS audio codecは対応していません。
- 30 GB(Giga Byte)を超える動画ファイルは対応していません。
- ハイスピードの対応していないUSBで動画を再生するときは再生が円滑でない可能性があります。
- 動画ファイルと字幕ファイルは同じフォルダに存在 していなければ なりません。 また動画ファイル名と字幕ファイル名が同じにするべきです。そうでないと字幕が出ません。
- 動画一覧機能で動画を視聴するときには映像調節機能を使えません。
- 動画ファイルにインデックス情報が入っていない場合、Trickモードは⏩のみ対応します。
- ネットワークファイルで動画ファイルを再生する場合、Trickモードは2倍速に制限されます。
- 一部特殊文字はファイル名として使用できません。

対応の動画ファイル

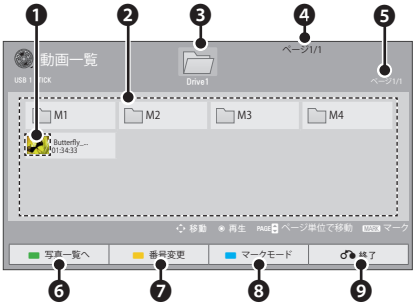
拡張子	オーディオ/ビデオ	コーデック	Profile/Level Support	説明
.asf .wmv	Video	VC-1 Advanced Profile	Advanced Profile @ Level 3 (e.g. 720p 60, 1080i 60, 1080p 30)	Only streams compliant to SMPTE 421M VC-1 standard are supported.
		VC-1 Simple and Main Profiles	Simple Profile @ Medium Level (e.g. CIF, QVGA) Main Profile @ High Level (e.g. 1080p 30)	
	Audio	WMA Standard		
		WMA 9 Professional		
.divx .avi	Video	DivX3.11		Global motion compensation or quarterpel motion estimation does not supported. Streams using this syntax are not supported.
		.divx4 .divx5 .divx6 XViD	Advanced Simple Profile(720p/1080i)	
		H.264 / AVC	Main Profile@ Level 4.1 High Profile@ Level 4.1 (e.g. 720p60, 1080i60, 1080p30)	
	Audio	MPEG-1 Layer I, II MPEG-1 Layer I, III (MP3) Dolby Digital		
.mp4 .m4v	Video	H.264 / AVC	Main Profile@ Level 4.1 High Profile@ Level 4.1 (e.g. 720p60, 1080i60, 1080p30)	Global motion compensation or quarterpel motion estimation does not supported. Streams using this syntax are not supported.
		MPEG-4 Part 2	Advanced Simple Profile(e.g. 720p/1080i)	
	Audio	AAC	AAC-LC and HE-AAC	
.mkv	Video	H.264 / AVC	Main Profile@ Level 4.1 Main Profile@ Level 4.1 (e.g.720p 60, 1080i 60, 1080p 30)	Most of the MKV content available is encoded by the open source x264 codec.
	Audio	HE-AAC	AAC-LC and HE-AAC	
		Dolby Digital		
.ts .trp .tp	Video	H.264 / AVC	Main Profile@ Level 4.1 High Profile@ Level 4.1 (e.g. 720p60, 1080i60, 1080p30)	
		MPEG-2	Main Profile @ High Level (e.g. 720p 60)	
		VC-1	Simple Profile @ Medium Level (e.g. CIF, QVGA) Main Profile @ High Level (e.g. 1080p 30) Advanced Profile@Level3 (e.g. 720p60, 1080i60, 1080p30)	Only streams compliant to SMPTE 421M VC-1 standard are supported.
	Audio	MPEG-1 Layer I, II MPEG-1 Layer I, III (MP3) Dolby Digital		
		AAC	AAC-LC and HE-AAC	
.vob	Video	MPEG-1		
		MPEG-2	Main Profile @ High Level (e.g. 720p 60)	
	Audio	Dolby Digital MPEG-1 Layer I, II DVD-LPCM		
.mpg .mpeg .mpe	Video	MPEG-1	Main Profile @ High Level (e.g. 720p 60)	Only streams compliant configured properly for TS, PS or ES
	Audio	MPEG-1 Layer I, II		

Bit rate range : within 32 kbps - 320 kbps (MP3)
Subtitle format : *.smi/*.srt/*.sub(MicroDVD, SubViewer1.0/2.0)/*.ass/*.ssa/*.txt(TMPlayer)/*.psb(PowerDivX)

動画一覧の画面

接続されたデバイスの動画ファイルを再生します。

1 USBデバイスを接続します。
2 **USB** ボタンを押します。
3 ∧、∨、<、>ボタンを押して動画一覧を選択し、**OK**ボタンを押してください。
4 複数のデバイスを接続した場合、∧、∨、<、>ボタンを押して希望のデバイスを選択し、**OK**ボタンを押してください。
5 ∧、∨、<、>ボタンを押して希望のファイルを選択し、**OK**ボタンを押してください。



	説明	
❶	サムネイル	
	非正常なファイル	
	対応していないファイル	
❷	ファイル一覧	
❸	1つ上のフォルダーへ移動します。	
❹	現在のフォルダー/全てのフォルダーページ	
❺	現在のページ/全てのファイルページ	
❻	**写真一覧**へ移動します。	
❼	一覧に表示されるファイルの個数を変更します。	
❽	希望のファイルを選んで見るマークモードに変更します。希望のファイルを選んでカラーボタンを押します。	
	マーク付きを再生	**赤色**ボタンを押します。マークしたファイルを再生します。
	すべてをマーク	**緑色**ボタンを押します。フォルダーの全ファイルをマークします。
	すべてのマークを外す	**黄色**ボタンを押します。すべてマークを解除します。
	マークモード終了	**青色**ボタンを押します。マークモードを終了します。
❾	動画 一覧を終了します。	

6 再生中に下記のように再生を設定できます。

項目	説明
<、>	再生位置を表示します。<、>ボタンを押して希望の位置に移動し、再生の位置を変更できます。
■	再生を停止して動画一覧に戻ります。
▶	正常再生に戻ります。

項目	説明
II	再生を一時停止します。 いずれのボタンも押さずに10分経つと、一時停止が解除してまた映像を再開します。
II ▶▶	スローモーションで再生します。
◀◀ ▶▶	ボタンを押すたびに探索速度が段階的に変わります。 : x2、x4、x8、x16、x32
オップション	設定画面が現れます。
隠す	再生位置バーを隠します。再度見えるようにするには**OK**ボタンを押します。
終了	**動画一覧**画面に戻ります。

オップション設定

1 **Q.MENU** ボタンを押します。

2 ∧、∨**ボタンを押して希望のオップションに移動し、OK**ボタンを押します。

3 ∧、∨、<、> **ボタンを押して項目別に設定値を入力します。**

動画再生の設定

項目	説明
アスペクト比	アスペクト比を設定できます。 • **Full**: 映像の比率にかかわらず全画面に再生します。 • **Original**: 映像の比率にあわせて全画面に再生します。
音声言語	多国語対応のファイルの場合は該当言語を選択できます。音声が一つだけであるファイルは選択できません。
字幕言語	字幕をオンまたはオフできます。 • **言語**: ファイルが多国語の場合に言語を選択します。 • **コードページ**: 字幕の文字を設定できます。 デフォルトの設定は **一般** → **メニュー言語**に選択した言語が表示されます。 • **速度**: 動画と字幕が合わない場合、0.5秒単位で合わせます。 • **位置**: 字幕の位置を移動させます。 • **サイズ**: 字幕のサイズを設定できます。
リピート	リピート再生するかどうかを設定します。 リピートオフに設定すると再生が終わった後、次のファイル(再生ファイルと似たようなファイル名の場合)が次々と連続再生します。

• **字幕言語**

項目	言語
日本語	日本語
英語	英語

映像設定

映像設定を変更します。
(34ページの"アドバンストコントロール"を参照してください。)

オーディオ設定

オーディオ設定を変更します。
(37ページの"オーディオ設定"を参照してください。)

DivX登録コードの確認方法

DivX登録コード番号を確認してください。登録番号でwww.divx.com/vodから映画のレンタル・購入ができます。

1 **USB**ボタンを押し、さらにホームメニューで**青**ボタンを押します。

2 ∧、∨**ボタンを押して**DivX(R) VOD登録で移動し、**OK** ボタンを押します。

3 DivX登録コードを確認してください。

重要

- 他機器のDivX登録コード番号を入力するとレンタル・購入したDivXファイルを再生できません。 本製品に与えられたDivX登録コードのみを使用してください。
- DivXコーデックのスタンダードに合わないファイルは、映像やオーディオが壊れたり再生できない可能性があります。

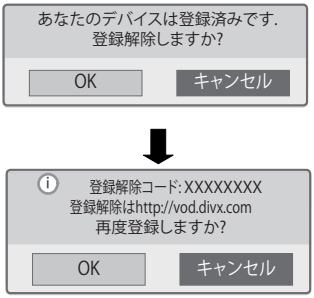
DRM機能を無効化する方法

DivX登録コードを使用してDRM認証を受けた動画ファイルをダウンロードし、再生します。

1 **USB**ボタンを押し、さらにホームメニューで**青色**ボタンを押します。

2 ∧、∨**ボタンを押してDivX(R) VOD Deregistration**、**OK**ボタンを押します。

3 **はい**を選択します。



重要

- DRM[Digital Rights Management]機能とは
  デジタルコンテンツの著作権関連の利益と権利を保護するため、その利用や複製を制御・制限する技術とサービスを言います。 オンラインなどでライセンスを確認してからファイルを実行できます。

写真の見方

接続されたデバイスの写真を見ます。

対応の写真ファイル

PHOTO(*.JPEG)
Baseline: 横64ピクセルx縦64ピクセル - 横15360ピクセルx縦8640ピクセル
Progressive: 横64ピクセルx縦64ピクセル-横1920ピクセルx縦1440ピクセル

- JPEGファイルのみに対応しています。
- 対応していないファイルはアイコンが表示されます。
- ファイルが壊れているか再生できない形式の場合にはエラーメッセージが表示されます。
- 壊れたファイルは鮮明に見えないことがあります。
- 解像度が高い写真を全画面で表示する場合は時間がかかります。

写真一覧の画面

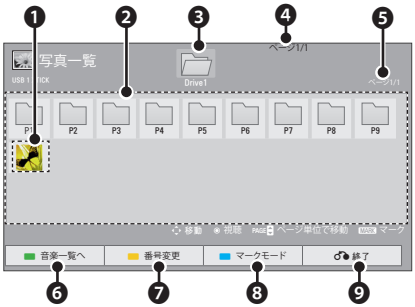
1 USBデバイスを接続します。

2 **USB**ボタンを押します。

3 ∧、∨、<、>**ボタンを押して写真一覧**を選択し、**OK**ボタンを押してください。

4 複数のデバイスを接続した場合、∧、∨、<、>**ボタンを押して希望のデバイスを選択し、OK**ボタンを押してください。

5 ∧、∨、<、>**ボタンを押して希望のファイルを選択し、OK**ボタンを押してください。



	説明	
❶	サムネイル	
	非正常なファイル	
	対応していないファイル	
❷	ファイル一覧	
❸	1つ上のフォルダーへ移動します。	
❹	現在のフォルダー/全てのフォルダーページ	
❺	現在のページ/全てのファイルページ	
❻	**音楽一覧**に移動します。	
❼	一覧に表示されるファイルの個数を変更します。	
❽	希望のファイルを選んで見るマークモードに変更します。希望のファイルを選んでカラーボタンを押します。	
	マーク付きを表示	**赤色**ボタンを押します。選択したファイルを再生します。
	すべてをマーク	**緑色**ボタンを押します。フォルダーの全ファイルを選択します。
	すべてのマークを外す	**黄色**ボタンを押します。すべてのマークを解除します。
	マークモード終了	**青色**ボタンを押します。マークモードを終了します。
❾	終了	

6 再生中に下記のように再生を設定できます。

項目	説明
◀ 2/13 ▶	写真をめくります。
スライドショー	マークされた写真がない場合、現在フォルダーにあるすべての写真をスライドショーにします。マークされた写真がある場合はその写真だけがスライドショーに表示されます。 • **スライド速度**は**オップション** → **写真再生設定**で変更できます。
BGM	写真を全画面で見ながら音楽を聴くことができます。 • **BGM**は**オップション** → **写真再生設定**で変更できます。
↻	写真を回転させます。 • 右回りに90°、180°、270°、360°回転します。 • 写真の横長が最大解像度の縦長よりも長い場合は回転できません。
	写真が画面より小さいときは画面に合わせて拡大することもできます。
オプション	設定画面が現れます。
隠す	全画面でメニューを隠します。 • メニューを再度表示するにはリモコンの**OK**ボタンを押します。
終了	全画面表示を終了します。

オップション設定

1 **クイックメニュー** ボタンを押します。

2 ∧、∨ボタンを押して希望のオップションに移動し、**OK**ボタンを押します。

3 ∧、∨、<、> ボタンを押して項目別に設定値を入力します。

写真再生設定

項目	説明
スライド速度	スライドショーの画面転換速度を変更します。
BGM	写真再生のときBGMを設定します。 • BGM再生中、BGMフォルダーは変更できません。 • BGMは同じデバイスのフォルダー内に入っているファイル中で選択できます。

映像設定

映像設定を変更します。

(34ページの"アドバンストコントロール"を参照してください。)

オーディオ設定

オーディオ設定を変更します。

(37ページの"オーディオ設定"を参照してください。)

音楽再生

接続されたデバイスの音楽ファイルを再生します。

対応の音楽ファイル

*.MP3
Bit rate range 32 Kbps ~ 320 Kbps

- Sampling rate MPEG1 Layer3 : 32kHz, 44.1kHz, 48kHz
- Sampling rate MPEG2 Layer3 : 16kHz, 22.05kHz, 24kHz

音楽一覧の画面

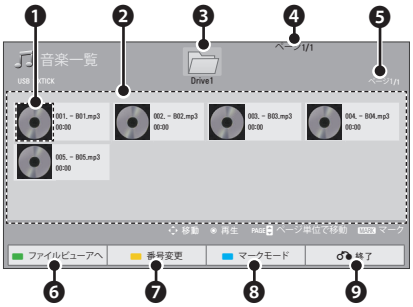
1 USBデバイスを接続します。

2 **USB** ボタンを押します。

3 ∧、∨、<、>ボタンを押して**音楽一覧**を選択し、**OK**ボタンを押してください。

4 複数のデバイスを接続した場合、∧、∨、<、>ボタンを押して希望のデバイスを選択し、**OK**ボタンを押してください。

5 ∧、∨、<、>ボタンを押して希望のファイルを選択し、**OK**ボタンを押してください。



	説明	
❶	サムネイル	
	非正常なファイル	
	対応していないファイル	
❷	ファイル一覧	
❸	1つ上のフォルダーへ移動します。	
❹	現在のフォルダー/全てのフォルダーページ	
❺	現在のページ/全てのファイルページ	
❻	**ファイル ビューア**へ移動します。	
❼	一覧に表示されるファイルの個数を変更します。	
❽	希望のファイルを選んで見るマークモードに変更します。希望のファイルを選んでカラーボタンを押します。	
	マーク付きを再生	**赤色**ボタンを押します。マークのファイルを再生します。
	すべてをマーク	**緑色**ボタンを押します。フォルダーの全ファイルを選択します。
	すべてのマークを外す	**黄色**ボタンを押します。すべてのマークを解除します。
	マークモード終了	**青色**ボタンを押します。マークモードを終了します。
❾	終了	

6 再生中に下記のように再生を設定できます。

項目	説明
<、>	希望の位置を選択して再生位置を変更できます。
■	再生を停止します。
▶	正常再生に戻ります。
II	再生を一時停止します。
◀◀ ▶▶	前/次のファイルを再生します。
写真付きで再生	音楽再生中に**写真一覧**へ移動します。
オプション	音楽一覧の**オップション**を設定します。
隠す	再生位置バーを隠します。 • 再度見えるようにするには**OK**ボタンを押します。
終了	**音楽一覧**画面に戻ります。

オップション設定

1 **Q.MENU** ボタンを押します。

2 ∧、∨ボタンを押して希望のオップションに移動し、**OK**ボタンを押します。

3 ∧、∨、<、> ボタンを押して項目別に設定値を入力します。

映像設定
映像設定を変更します。
(34ページの"アドバンストコントロール"を参照してください。)

オーディオ設定
オーディオ設定を変更します。
(37ページの"オーディオ設定"を参照してください。)

ドキュメントファイルを見る方法

接続されたデバイスのドキュメントファイルが見えます。

対応のファイル一覧

XLS、DOC、PPT、TXT、XLSX、PPTX、DOCX、PDF
マイクロソフトオフィス(Microsoft Office) 97/2000/2002/2003/2007バージョン
アドビ(Adobe) PDF 1.0/1.1/1.2/1.3/ 1.4 バージョン

- ファイルビューアはPCとは違う方式でドキュメントを表示するため、PCの画面とは違う場合があります。
- 絵・写真などが含まれたドキュメントの場合、ファイルビューアでは画質が低下することが あります。
- ドキュメントの容量が大きいかページ数の多い場合、ロード時間が長くなることがあります。
- 対応していないフォントは別のフォントにおきかわる場合があります。

ファイルビューア画面

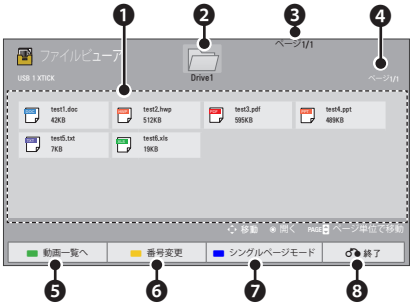
1 USBデバイスを接続します。

2 **USB**ボタンを押します。

3 ∧、∨、<、>ボタンを押してファイルビューアを選択し、**OK**ボタンを押してください。

4 複数のデバイスを接続した場合、∧、∨、<、>ボタンを押して希望のデバイスを選択し、**OK**ボタンを押してください。

5 ∧、∨、<、>ボタンを押して希望のファイルを選択し、**OK**ボタンを押してください。



	説明	
❶	ファイル一覧	
❷	1つ上のフォルダーへ移動します。	
❸	現在のフォルダー/全てのフォルダーページ	
❹	現在のページ/全てのファイルページ	
❺	**動画一覧**へ移動します。	
❻	一覧に表示されるファイルの個数を変更します。	
❼	シングルページモード	ドキュメントを読み込むとき、ユーザーが見る一つのページだけを処理する方式として、最初ロード時間が短いが、サイズの大きいページをロードするときはロード時間が長くなります。
	フルドキュメントモード	ドキュメントを読み込むとき、ドキュメント全体をメモリに読み込む方式として、最初ロード時間は長いが、ページを速くめくることができます。あまりに容量の大きいドキュメントファイルの場合、全体ページが読み込めないことがあります。
❽	終了	

6 再生中に下記のように再生を設定できます。

- PAGEボタンを押すと前のページや次のページへ移動します。
- ボリュームボタンを押すとズームインやズームアウトができます。
- 1. メニューを押してください。
  2. ナビゲーションボタンを押してページ移動やズームへ移動できます。

項目	説明
進むページ	希望のページへ移動します。 ナビゲーションボタンや数字ボタンを押して希望のページを選択し、OKボタンを押します。
ズーム	画面を伸ばしたり縮めたりできます。 ナビゲーションボタンを押して希望のページを選択し、OKボタンを押します。
隠す	メニューをクローズします。 • 再度見えるようにするには**OK**ボタンを押します。

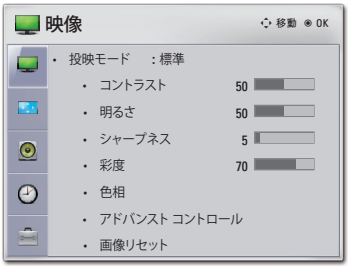
詳細設定

設定メニュー

1 **MENU**ボタンを押します。
2 ∧、∨、<、>ボタンを押して設定したい項目を選択し、**OK**ボタンを押してください。
3 ∧、∨、<、>ボタンを押して希望の項目を選択し、**OK**ボタンを押してください。
4 メニュー表示を終了するには、**BACK**ボタンを押します。

メニュー		説明
	映像	映像を最適な状態で調整します。
	画面	投映モード、画面サイズ、台形補正などを設定します。
	オーディオ	サウンドを設定し、音量を調節します。
	タイマー設定	現在時間を設定し、関連の設定を行います。
	オプション	一般的な設定を行います。
	入力	外部機器を選択します。
	マイメディア	写真や音楽、動画、ドキュメントファイルを確認します。
	情報	プロジェクターの情報を提供しています。

映像設定



1 **MENU**ボタンを押します。

2 ∧、∨、<、>**ボタンを押して映像**を選択し、**OK**ボタンを押してください。

3 ∧、∨、<、>**ボタンを押して希望の項目を選択し、OK**ボタンを押してください。
- 前の画面に戻るには **前**ボタンを押します。

4 メニュー表示を終了するには、**BACK**ボタンを押します。

映像関連設定は下記のようです。

項目	説明	
投映モード	選択した投映モードによって最適の投映状態を維持します。 各投映モード設定を変更することもできます。	
	モード	
	ビビッド	ビデオの映像効果を最大化するモードです。コントラスト、明るさ、シャープネスを強調し、クリアな映像を表現します。
	標準	DVDに最適化された画質です。
	シネマ	映画視聴用に最適化された画質です。
	スポーツ	動きの早い動画、原色を強調してスポーツ視聴に最適の映像を表現します。
	ゲーム	スピードな動画に最適化されたモードでゲームを楽しめることができます。
	カスタムモード	お好みに応じる詳細の設定ができます。
コントラスト	ビデオ信号のグラデーションを増加・低下させてコントラスト比を調整します。	
明るさ	映像信号のベースレベルを調整して明るさを調節します。	
シャープネス	映像の明るい部分と暗い部分との境界の鮮明度を調節できます。レベルをマイナスするとソフトな映像が見えます。	
彩度	色相の強度を調整します。	
色相	赤色と緑色のバランスを調整します。	
アドバンスト コントロール	詳細設定を行います。	
画像リセット	全モードに対して工場出荷時の状態に復帰します。	

アドバンスト コントロール

項目	説明
ダイナミック コントラスト	映像の明るさにより、コントラストを最適の状態に補正します。
ダイナミック カラー	映像の色相を自然に近い色に補正します。
クリアホワイト	画面の白色をもっと明るくてクリアに見えるようにします。
肌色	ユーザー希望の肌の色を表現するため、映像の肌の色部分だけを別途調整します。
ノイズ リダクション	映像に含まれているノイズを除去します。
デジタルノイズ低減	デジタル映像信号が発生させるノイズを低減します。
ガンマ	映像信号の入力信号に対する出力の関係によって階調曲線を設定します。
黒レベル	画面の暗い程度(黒レベル)を利用して入力映像の黒レベルによく合うように画面の明るさおよびコントラストを補正します。 **RGB-PC**では対応できません。
シネマ ズーム +	映画視聴時、最適の画面状態を維持します。
色域	表現できる色の範囲を選択します。 • **標準**: 入力信号の標準による色空間をディスプレイの特性にかかわらずもとの色に再現します。 • **ワイド**: ディスプレイの豊かな色域を使用するように設定します。
エッジ エンハンサ	映像のエッジをもっと自然に、もっとクリアに表現します。
xvYCC	より豊かな色を表現します。この機能はHDMI信号が入力する場合**シネマ**、**カスタムモード設定**を選択すると設定できます。
エキスパートパターン	エキスパート調整に必要なパターンが見えます。
カラーフィルター	RGB色相の中で特定色域だけをフィルタリングして、カラーゲインと色相を正確に調節します。

項目	説明
色温度	お好みに応じて全体的な色感を調整できます。 **低**/**中**/**高**を選択できます。 **カスタムモード設定**の場合、色温度の設定によって下記のように細部の調整ができます。
	ガンマ: **1.9**、**2.2**、**2.4**を選択できます。 a. **方法**: **2ポイント** - **パターン**: **内部**、**外部** - **コントラスト赤/緑/青**、**明るさ赤/緑/青**: 各 **-50** - **+50**まで設定できます。 b. **方法**: **10ポイントIRE** - **パターン**: **内部**、**外部** - **IRE**(Institute of Radio Engineers)はビデオ信号の振幅を表す単位として**10**、**20**、**30** - **90**、**100**まで設定できます。各設定によって下記のように細部の調整ができます。 - **輝度** : 100 IREのときの輝度を設定すれば10 IRE ~ 90 IREでは段階別に各ガンマを満足する輝度値が自動計算・表示されます。 - **赤/緑/青** : **-50** - **+50**まで設定できます。
カラー マネージメント システム	赤/緑/青/青緑/赤紫/黄の色を希望どおり設定できます。専門家らがテストパターンを使用して調整する機能として、他の色に影響を与えられず、6種の色域(赤/緑/青/青緑/赤紫/黄)に対して選択調整できます。 一般映像では調整をしても色変化はあまり感じられません。 - **彩度 赤のカラー緑のカラー青のカラーイエローのカラーシアンのカラーマゼンタのカラー**、 **色調 赤の色合い緑の色合い青の色合いイエローの色合いシアンの色合いマゼンタの色合い :** 各 **-30** - **+30**まで設定できます。

画面設定

1 **MENU**ボタンを押します。

2 ∧、∨、<、>**ボタンを押してスクリーン**を選択し、**OK**ボタンを押してください。

3 ∧、∨、<、>**ボタンを押して希望の項目を選択し、OK**ボタンを押してください。
- 前の画面に戻るには **BACK**ボタンを押します。

4 メニュー表示を終了するには、**BACK**ボタンを押します。

スクリーン関連設定は下記のようです。

項目	説明	
投写位置	映像の上下または左右を変えて投射します。 • スクリーンの背面(リア)から映像を投射する場合は**反転**を選択してください。 • 製品を天井で設置して視聴する時には**フロント天吊り**を選択してください。 • 投写位置が**リア天吊り**の時、スピーカーは自動に左右が切り替わります。	
アスペクト比	アスペクト比を設定できます。(17ページ参照)	
台形補正	スクリーンやプロジェクターが傾いて入射角が直角でない場合、投射した映像の上または下の幅をスクリーンの形態に合わせて映像が台形にならないよう補正します。(18ページ参照)	
RGB入力設定	RGB-PC入力の画面を設定します。	
	項目	
	解像度	解像度は768解像度(1024x768/1280x768/1360x768、60Hz)と1050解像度(1400x1050/ 1680x1050、60Hz)の中で選択できます。
	自動設定	プロジェクターの内部設定と様々なPCのグラフィック信号が合わないと、水平幅の不一致や画面の揺れが発生します。これを自動に合わせて映像の最適化を維持します。 • リモコンの**自動設定**ボタンを押して実行することもできます。
	位置	映像を上/下/左/右に移動します。
	水平サイズ	画面のサイズを設定します。
	位相	水平ノイズを低減し、画質をクリアにします。
	リセット	RGB入力設定で変更した内容を工場出荷時の値に戻ります。

オーディオ設定

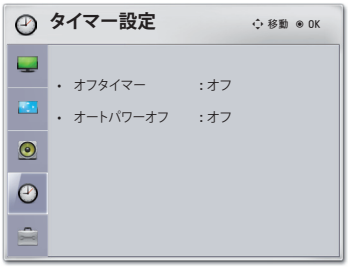
1 **MENU**ボタンを押します。
2 ∧、∨、<、>**ボタンを押してオーディオ**を選択し、**OK**ボタンを押してください。
3 ∧、∨、<、>**ボタンを押して希望の項目を選択し、OK**ボタンを押してください。
- 前の画面に戻るには **前**ボタンを押します。
4 メニュー表示を終了するには、**BACK**ボタンを押します。

オーディオ関連設定は下記のようです。

項目	説明
音量	音量を調節します。 • リモコンの**VOL**ボタンを押して実行することもできます。
バランス	左右スピーカーの音量バランスを取ります。
高音域	高音域を設定します。

タイマー設定

1 **メニュー**ボタンを押します。
2 ∧、∨、<、>**ボタンを押して時間**を選択し、**OK**ボタンを押してください。
3 ∧、∨、<、>**ボタンを押して希望の項目を選択し、OK**ボタンを押してください。
- 前の画面に戻るには**BACK**ボタンを押します。
4 メニュー表示を終了するには、**BACK**ボタンを押します。



時間関連設定は下記のようです。

項目	説明
オフタイマー	設定の時間になるとプロジェクターが自動にオフします。
オートパワーオフ	信号がない場合、設定の時間になるとプロジェクターが自動にオフします。

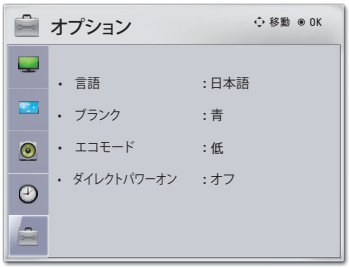
オプション設定

1 **MENU**ボタンを押します。

2 ∧、∨、<、>**ボタンを押して一般**を選択し、**OK**ボタンを押してください。

3 ∧、∨、<、>**ボタンを押して希望の項目を選択し、OK**ボタンを押してください。
- 前の画面に戻るには **BACK**ボタンを押します。

4 メニュー表示を終了するには、**BACK**ボタンを押します。

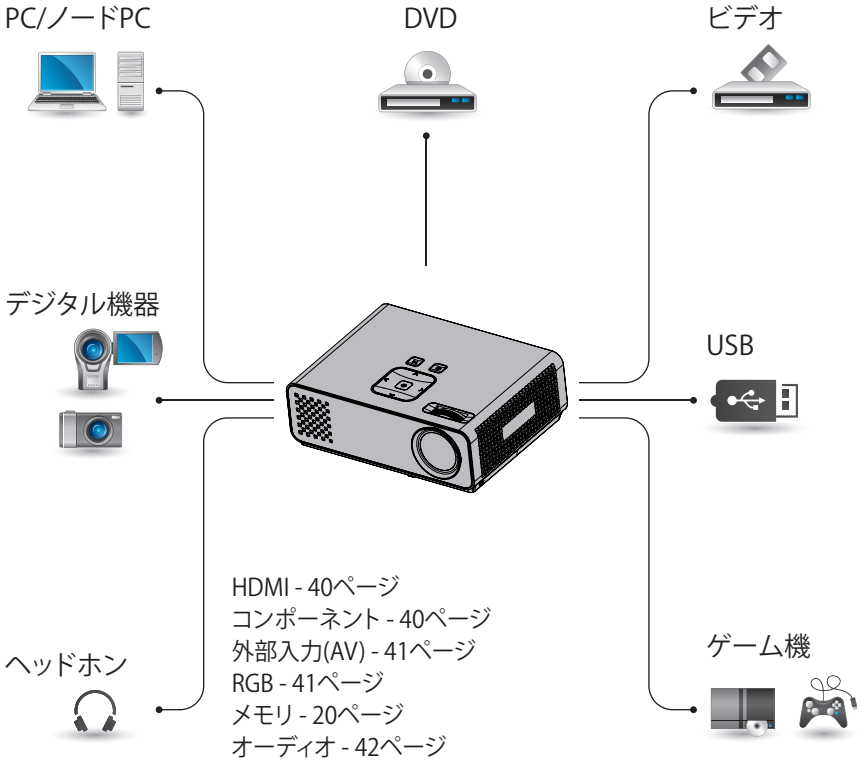


一般関連設定は下記のようです。

項目	説明	
言語	メニューの言語を選択します。	
ブランク	ブランクの時現れる背景を選択します。(19ページ参照)	
エコモード	画面の明るさを設定します。 • リモコンの**Q.MENU**ボタンを押して設定することもできます。	
ダイレクトパワーオン	電源ケーブルを接続すると自動的にプロジェクターがオンするように設定できます。	
	項目	
	オン	プロジェクターに電源コードを接続するとプロジェクターがオンします。
	オフ	プロジェクターに電源コードを接続するとプロジェクターが電源待機になります。

外部機器の接続方法

プロジェクターと複数の外部機器を接続します。

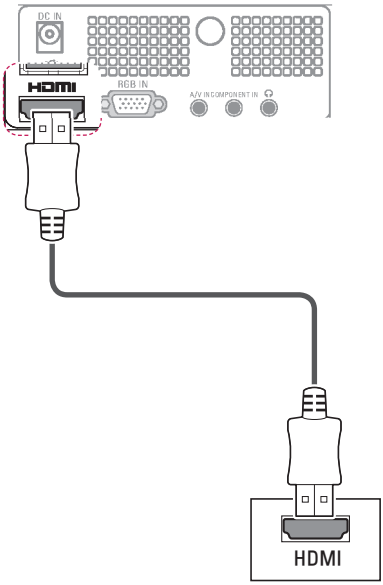


デジタル放送受信機やDVD、ビデオなどの接続方法

デジタル放送受信機やDVD、ビデオなどを接続した後、該当機器を接続した入力に変更してください。

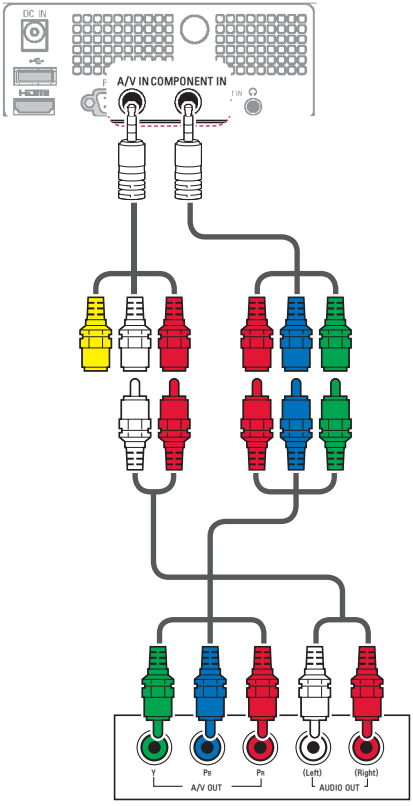
HDMI接続

HDMIケーブルを使用すれば高画質と高音質の映像システムを楽しめることができます。リモコンの**INPUT** ボタンを押して**HDMI**を選択します。



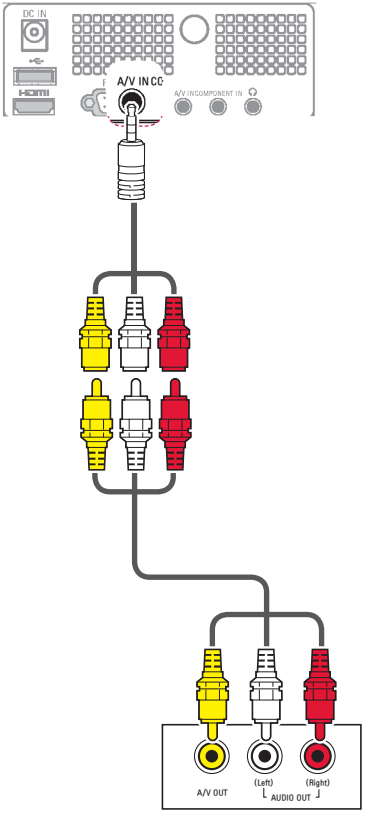
コンポーネント接続

コンポーネント端子がある外部機器をプロジェクターのコンポーネント端子に接続するとよりクリアな映像を楽しめることができます。リモコンの**INPUT**ボタンを押して**コンポーネント**を選択します。



外部入力(AV)接続

外部機器の出力とプロジェクターのビデオ/オーディオ入力端子をビデオ/オーディオ接続線に接続します。リモコンの**INPUT**ボタンを押して**外部入力**を選択してください。

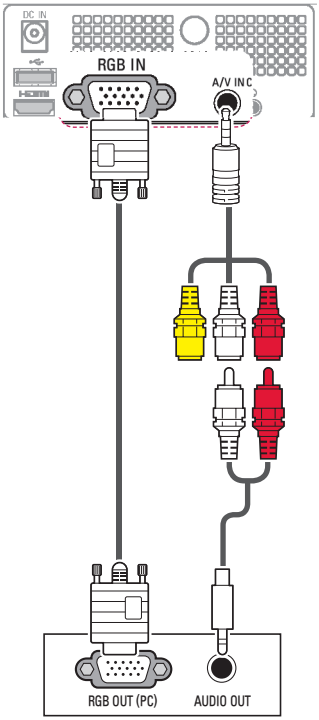


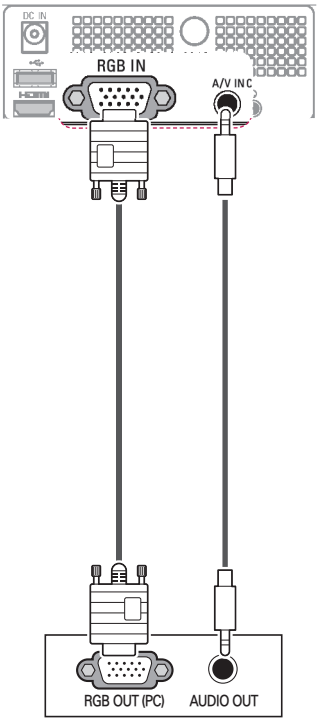
PCの接続方法

このプロジェクターはPlug & Playに対応します。別途のドライバーを設置せず、直にPCと接続します。

RGB接続

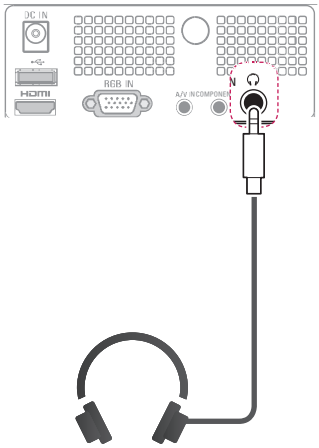
PCの出力とプロジェクターのPC映像入力端子をRGBケーブルに接続します。
オーディオ出力は別売品のオーディオケーブルでPCとプロジェクターを接続してください。PC画面の設定は36ページの"RGB入力設定"を参照してください。





ヘッドホン接続

プロジェクターのオーディオをヘッドホンで聞けます。



メンテナンス

プロジェクター掃除をして最適の状態を維持します。

掃除

レンズの掃除

表面にほこりや汚れがある場合は即にレンズを掃除してください。
レンズ表面はエアスプレー、乾いた柔らかい布で掃除します。
レンズのほこりや汚れを取り除く時はエアスプレーまたは市販のレンズクリーニング液やアルコールを綿棒に付けて軽く拭いた下さい。
その時、レンズクリーニング液をレンズに直接たらさないようにご注意ください。

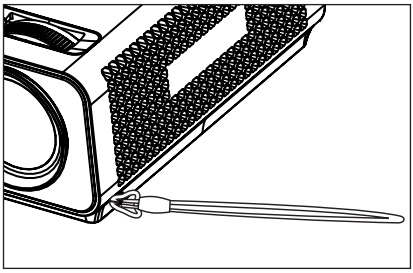
プロジェクターケースの掃除

プロジェクターケースを掃除する時にはまず電源コードを抜いてください。
ほこりや汚れを取り除く場合、毛羽立たない乾燥した柔らかい布を使用してください。
アルコール・ベンゼン・シンナーや他の化学薬品を使うとケースが損傷する可能性がありますので、使わないでください。

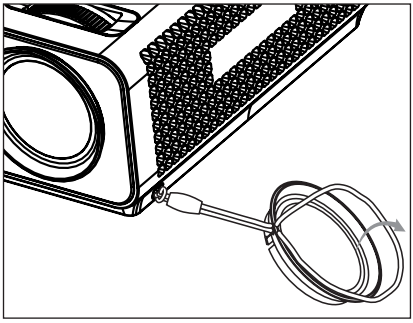
レンズキャップの固定方法

1 付属品として提供されたレンズキャップと紐を準備します。

2 紐の片方の端をプロジェクターのレンズ部下にある穴部分に差し込みます。紐の片方の端を中に入れた後、紐を引き寄せてプロジェクターに固定します。



3 プロジェクターに取り付けた紐をレンズキャップの穴に差し込んで、レンズキャップを紐の間に通します。



製品規格

モデル	KG-PL031W	
解像度(ピクセル)	1280(水平)×800(垂直)	
縦横比	16:10(水平:垂直)	
パネルサイズ(mm/inch)	11.623/0.45	
投写距離(映像サイズ)	0.59m - 3.00m(20inch-100inch)	
上向投写率	100 %	
リモコン使用距離	6m	
ビデオ入力	NTSC	
AC-DCアダプター	19.5V ⎓、5.64A	
オーディオ出力	1 W + 1 W	
高さ(mm)	54.0(足除き)、57.0(足含め)	
幅(mm)	160.0	
深さ(mm)	119.5	
重量(g)	780	
USB定格	5 V、0.5A(最大)	
動作環境	温度	
	動作	0°C - 35°C
	保管	- 20°C - 60°C
	湿度(相対湿度)	
	動作	0 % - 80%
	保管	0 % - 85%

対応のモニタディスプレイ

解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
640X350	70.090	31.468
720X400	70.080	31.469
640X480	59.940	31.469
800X600	60.310	37.879
1024X768	60.000	48.363
1152X864	60.053	54.348
1280X768	59.870	47.776
1280X800	60.000	49.680
1360X768	60.015	47.712
1280X1024	60.020	63.981
1400X1050	59.979	65.317
1680X1050	60.000	65.300

- 対応していない信号が入力されると画面に「対応していないモード」という表示が現れます。
- Plug & Play機能としてDDC 1/2Bタイプに対応します。(PCのモニタ自動認識機能)
- 対応するPC同期信号の種類:分離形同期(Separate)
- 最上の画質はPCモードで1280x800を推奨します。

オープンソース・ソフトウェアのご案内

TAXANプロジェクタカスタマーセンターにご依頼頂ければ、本製品に搭載されたGPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスのもとで開発されたソースコードに関する情報は、CD-ROMに記録し、提供致します。、また、媒体費用や送料手数料等の配送実費を請求いたします。

万一のトラブルにも安心。
充実のお客様サポートプラン。

TAXANは、通常の１年間の保証以外に安心・充実のサポートを提供いたします。

TAXAN LED データ・プロジェクタ サポート 無 料

● サポート内容

1. 故障が発生した際の、製品の引き取り及び修理完了品のお届を送料無料で行います。(注1)
2. 製品の修理期間中に代替機を無料でお届けいたします。
   また、修理完了品のお届け時に代替機の回収を無料で行います。
   （修理依頼の際にお申し出があった場合に限ります）(注2)

● お申込み方法

下記のTAXANホームページからユーザー登録及びTAXANデータ・プロジェクタサポートのお申し込みをお願いします。

http://www.taxan-projector.jp/support/maintenance/index.html

● サポート有効期間

ご登録いただいてから保証期間終了時（製品購入から１年）までとなります。
ご登録は、製品購入後から2か月以内にお願いいたします。
（２か月を超過した場合、登録を受け付けることができません）

● 対象機種

「TAXAN」ブランド製品

（注1）製品を天吊りしている場合など、製品の取り外し・取り付けに関する費用は有料となります。
（注2）代替機のお届けは、お申し出があった場合に限ります。

お問い合わせ先 TAXANプロジェクタ カスタマーセンター
TEL 0120-331-059 受付時間 平日 9:00～17:00 FAX 03-3814-4543
携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

TAXAN

プロジェクタのモデル番号とシリアル番号は、装置の背面または側面に記されています。サービスご依頼時に必要となることがあるため、この番号を下記に記録しておいてください。

モデル番号 _____

シリアル番号 _____